

19m09

教育方法論m

小テスト



班別討議



1学習をめぐる3つの理論



全体発表

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習における他者の役割)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・注意・記憶・想像形成などのすべての高次精神機能は最初
- ・は個人間の社会的関係のなかで精神間機能として
- ・出現し、それが個人の精神内機能へと時間を経て内化される。
- ・最近発達領域といふところもが独力で解決できる水準と大人からの援助のもとまたは仲間との協同で解決できる水準との差がある
- ・スキャフォールディングとは大人が子どもに支援を行い、それがおとろとも一人でできるかた問題に独力で解決できること。

■肯定的web (中学校学習指導要領)

まとめ ()

- ・対話によって自分の考えをより広めたり深めたりする場合が必要
- ・高度な社会問題やそれに関わる学習活動
- ・それが対話的な学習ではない

■否定的web (他者との学習における動機づけ調整、まとめ () 市略尺高の作成)

- ・学習において常に意欲的に取り組むことは困難なので自身の動機づけを効果的に調整することが必要である。

- ・効果的な学習を促進するためにも他者との学習における動機づけの役割について検討が必要

動機づけ

- ・グループの人たちと互いに励ます。
- ・学習内容に興味があるように注目する。
- ・課題だからやらないといかないと考える。
- ・学習が終わった後が楽しみを作る。
- ・子ども一人一人に役割を与える

■班としての要約

まとめ ()

- ・「よいこと」においても独学、自力で学ぶことは無理なので他人は必要不可欠
- ・学習のモチベーションをあげるのもまた他人あてのものだというところがある。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

最近発達領域	独力	援助	子ども
大人	仲間	差	対話
意欲的	動機づけ	効果的	他者
学習	励ます	興味	義務
楽しみ	役割		

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 9 回

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習をめぐる3つの理論)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (

- ・ 連合説 { 古典的条件づけ
- ・ 認知説 { オペラント条件づけ
- ・ 状況理論

■肯定的 web (

まとめ (

- ・ 認知説 → 発展的な考察ができた
- ↓
- ・ 自主的な学びへ
- ・ 状況理論 → 責任感・やりがいを与えることで
- 主体的な行動

■否定的 web (

まとめ (

- ・ 連合説 → 複雑なことが教えられない
- ↓
- ・ 学校教育に向かない

■班としての要約

まとめ (

- ・ 連合説 は 学校教育に向かない
- ・ 認知説 が最も学校教育に向いている
- ・ 状況理論 → 連合説や認知説を否定して成り立つ理論ではない

キーワード 10~20 語

- ・ 連合説
- ・ パブロフ
- ・ 古典的条件づけ
- ・ スキナ
- ・ オペラント条件づけ
- ・ 強化刺激
- ・ 認知説
- ・ 自発的
- ・ 状況理論
- ・ ケーラー

明日中に

- ・ 洞察説
- ・ 社会的構成主義
- ・ レイヴ
- ・ ヴェンカー
- ・ 正統的
- ・ 周辺参加

概念系統図

- ・ ビアジエ
- ・ 発達理論
- ・ 発達段階
- ・ シーグラー
- ・ 「わかる学力」

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

2 学習理論に基づく学習方法



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 9 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習理論に基づく学習方法)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

・スティーア学習と単純な行動の連鎖の習得に分解可

↓
プログラム学習

ブルーナー「知識の現象の科学的説明と主体的に見出すのが重要」

↓
発見学習 時 仮説実験授業

オズベル「スティーアガイズ」を軸として新規の内容がつけられる

↓
有意味受容学習

■肯定的web (SLR 研究会)

まとめ (行動主義)

・行動主義はオペラント条件を教育に応用

・社会に期待される高専教育に其限界あり。

・「行動修正の技法」というオペラントの応用があるが、

本人の意をある者が修正するのはむずかしい

↑
社会倫理等を学ぶ必要あり。

■否定的web (PBL)

まとめ (自己調整学習)

・学習者がもっている力を発揮する自発的プロセスが影響

・主体的ととりくむかがキー

■班としての要約

まとめ ()

・ポイント同士の結合の学習は良いが、

しびれはよくない。

生徒の実態を明らかにしていくべき。

環境が悪いと思っている生徒とうまくアプローチして

いかなければならない。

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・スティーア	・ブルーナー	・オズベル	・プログラム学習
・発見学習	・有意味受容学習	・仮説実験	・オペラント条件
・行動主義	・自己調整学習	・主体的	・学習方法
・学習理論	・	・	・
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取

各班ワークシート複数資料用 (まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習理論に基づく学習方法)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (学習理論に基づき学習方法として種類ある。)

・プログラム学習には5つの原理で構成されている。

- ・スモールステップの原理 (学習は少しずつ)
- ・リト後退の原理 (リトは最小限で)
- ・積極的反応の原理 (学習者が刺激に反応)
- ・フィードバックの原理 (反応に対し、正誤のフィードバック)
- ・自己ペースの原理 (学習を学習者のペースで)

・発見学習は学習者が現象を説明できる科学的説明を主体的に見出していく。

・自意味受容学習... 教師による説明が中心だが、子どものもつ好奇心との関連性も重視。

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・プログラム学習は個々の学習の速度に対応でき、
- ・また学習者の反応に対して毎刻フィードバックできる。
- ・自意味受容学習では応用的な能力を育成する場面に効果がある。

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・発見学習は問題解決の応用が身につき、
- ・79%の時間が必要となる。

■班としての要約

まとめ ()

- ・学習者が学ぼうとする姿勢と、学ぶための場が増える。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

・プログラム学習	・スモールステップ	・リト	・積極的反応
・フィードバック	・ディレクショナル	・フルー	・発見学習
・仮説実験授業	・オズベル	・自意味受容学習	・オーガナ
・応用的な能力			

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

3 学習における他者の役割



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習をめぐらうの理論)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ① 連合説 → 刺激と反応の間に新しい結びつきが形成されること
- ② 認知説 → 主体が外的環境をとらえるための内的な枠組みの変化
- ③ 状況理論 → 集団が行う実践に対する個人の参加の仕方の変化

学習の諸理論 ← 発達論

web 関連性をもっている
■ 肯定的 web (構成主義にもとづく学習理論への転換)
まとめ ()

- 学習理論を援用した学習活動を展開することにより、子どもの人間形成に作用する。

web

■ 否定的 web ()
まとめ ()

- 学習理論は、各教科を原点に立ち返らせる



現代の子どもの実態に即した改革への契機

■班としての要約

まとめ ()

- 学習理論と発達論はつながりをもつ。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | | |
|-------|--------|--------|------|
| ・ 連合説 | ・ 認知説 | ・ 状況理論 | ・ 刺激 |
| ・ 反応 | ・ 外的環境 | ・ 集団 | ・ 実践 |
| ・ 個人 | ・ 参加 | ・ 発達論 | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ |

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学習における他者の役割)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (他者との かかり方)

- ・教員が協同して学習と他者との仲間関係で共に学習に力
- ・子供は日常生活からでも学習
- ・学習者がでの発達の段階でも支援により問題を理解させることができる。この本質までも理解させるのは素晴らしい!

■肯定的 web (他者と共に問題を解決する学習活動)

まとめ (他者と共に)

- ・他者からの情報は自分の学習の動力を促す
- ・他者と共に問題を解決するには各々の個性を生かし互いに尊重する。
- ・他者との交流において自分の意見を伝えることに
- ・加えて他人の気持ちを理解し、受け止めることが大切。
- (か) 受け止めるだけでなく、反論することによって互いの考えを深めることができる。

■否定的 web ()

まとめ (否定的・限界がある)

- ・足場かけは限界があり日常生活でも限界がある
- ・子どもの年齢、言葉遣いの美しさ、相互作用の質も関係する

■班としての要約

まとめ (他者の重要性)

- ・他者との役割の重要性
- ・お互いのスキルを模倣し、学習
- ・お互いの考えを結合

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・教員	・協同	・学習	・他者
・子ども	・年齢	・言葉遣い	・相互作用
・質	・理解	・気持ち	・受け取り
・考え	・結合	・スキル	・役割
・重要性	・足場かけ	・日常生活	・発達段階

全体発表(ICT活用例)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

体育, 実技

■目標、内容・指導の概略等

目標と自分の映像と比べて感じよう

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

■工夫した点、出典等

映像にたのびます実技も大
でよていふ人の指導

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを3つ取り上げ、説明せよ。

■

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 9 回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

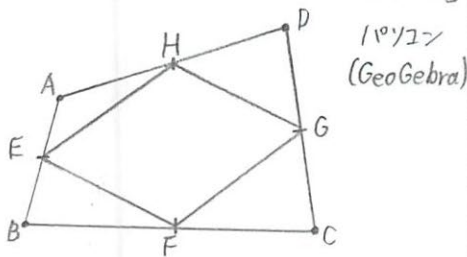
班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (中点連結定理)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

中学3年生・数学(中点連結定理)・数学教科書



■目標、内容・指導の概略等

アクティブラーニングの3つの視点(主体的な学び, 対話的な学び, 深い学び)からICT活用。GeoGebraを活用して学びを深める。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感想を述べる。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

中学3年生の数学教科書, パソコン, 筆記具, 紙

(導入)

問題で与えられた四角形がどんな形になるか言明べる。四角形を変形させて成り立つかを調べて、グループで話し合う。

(展開)

証明で考える。考えた証明を共有する。四角形を変形させて元の四角形はどのように変化するのか、変形させた四角形の条件を考える。

(結末)

元の四角形の辺や角は、変形後の四角形のどの部分に関係しているかをグループで話し合う。

■工夫した点、出典等

パソコンを使用し、授業。主にグループワークで授業を進める。主体的取り組みと言語活動力の充実を目指す。

四角形の条件

平行四辺形 $\Rightarrow$ どんな時でも
 長方形 $\Rightarrow$ 対角線が垂直のとき
 ひし形 $\Rightarrow$ 対角線の長さが等しくなるとき
 正方形 $\Rightarrow$ 対角線の長さが等しくて垂直になるとき

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分の発言に用いたものについて

全体発表(確認問題8)



教育方法論 19m 班まとめ (発表者が書くこと)

第 回

各班ワークシート (確認問題まとめ)

- 1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問 1

一方向性・連続性
均質性
糸田切木の断り

■問 2

教育実践, 克服, 生活感 省略 文芸性
事実 理論的 形象化 共通
見直し

■問 3

さまざまな反応をとらえる
空白の時間を作らぬ
待つ
教室全体を見る
学習形態を工夫する

■問 4

現実の発達水準と潜在的な発達水準と
の差を表している
他者による「促し」を借りつつ最終的には
それを乗り越えていこことが発達を促すといえる

- 2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ

各問のポイント

■問 1

- ・ 一方向性、連続性
- ・ 均質性
- ・ 細切れの分断

■問 2

教育実践, 克服, 生活感,
省略, 文芸性, 事実,
理論的, 形象化,
共通, 財産,

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■問 3

- ・ さまざまな反応をとらえる。
- ・ 空白の時間を作らない。
- ・ 待つ。
- ・ 教室全体を見る。
- ・ 学習形態を工夫する。

■問 4

「最近接発達領域」
現実の発達水準と、潜在的な
発達水準との差を指すもの。

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り